

学会企画シンポジウム 3

社会情動的（非認知）能力の発達とソーシャルエモーショナルラーニング（SEL）の実践 ——学習支援及びメンタルヘルスへの貢献——

【企画趣旨】

近年、子どもたちの社会情動的な発達を促進させることの重要性に対して多くの関心が向けられている。欧米の学校改善の文脈においては、社会情動的能力やスキルが重視され、ソーシャルエモーショナルラーニング(SEL)を重視する学校の生徒の学業成績が向上したという研究が関心を集めている。また、こうした社会情動的なスキルは、非認知能力とも考えられ、経済協力開発機構 OECD などでも、子どもが学習者としてのラーニングコンパスを獲得する上でも重要であるとされている。日本でもこうした動きが知られつつあり、学校教育の改善の視点から教育心理学会でも重要なテーマだと考えられる。社会情動的（非認知）スキルの発達と、そのスキルの向上を意図するソーシャルエモーショナルラーニングの実践に取り組む実践研究者や教育関係者からの話題提供を受け、こうした取り組みが、学習の促進及びメンタルヘルスの予防につながるか？という切り口から討論したい。